

シグマ委員会 核データ専門部会
核データ評価コード W.G サブ W.G. 会合議事録

日 時 昭和55年 8 月 18 日 (月) 13 時 45 分～17 時 30 分
場 所 原研東海研究所 研究 2 棟 322 号室
出席者 浅見 明 (高エネ研), 菊池康之 (原研), 吉田 正 (NAIG),
中島 豊 (原研), 中川庸雄 (原研)

配布資料 ²³³U 共鳴パラメータ評価レポートの原稿 (菊池)

議 題

1. 評価のまとめについて

(イ) ²³³U (菊池)

配布資料のような原稿がすでにできている。

(ロ) ²³⁵U (浅見)

レビューと評価の両方をまとめた形でまとめたい。レビューについては和文の原稿がすでにできている。今後評価についての原稿をまとめ、10月末までに第一次原稿を作りたい。なお、評価結果の一部を少々修正するかもしれない。

(ハ) ²³⁸U (中川)

評価方法についてはほぼ原稿ができた。実験データのレビューを今後まとめて、11月末までに原稿を作りたい。

(ニ) ²³⁹Pu (吉田)

レビューのレポートはすでに出したので、最終結果の表と図を中心としたレポートを作る予定。REPSTORの入力データが残っている場合は、REPSTORの表もレポートに加えたい。11月末までに原稿を作る。

(ホ) ²⁴¹Pu (菊池)

REPSTOR によるパラメータのまとめと作図は終わった。レポートには高いエネルギーのデータについてもまとめたいので原稿作成の予定は立たない。

2. 今年度の予定

今年度は核データ評価コードW.G.の中のサブW.G.として共鳴パラメータ評価に必要なコードの整備を行っていく必要がある。評価のレポート作成に重点を置きつつ、かつ次のような作業をすることで意見の一致をみた。()内は担当者名

(イ) RESENDに resolutionを考慮に入れた計算機能を追加する。

(吉田, 中川)

(ロ) 共鳴パラメータから角分布を計算するコードの検討 (中島)

(ハ) NDESの改良 (中川)

(ニ) aria analysisによるパラメータ評価方法 (中川, 中島)

(ホ) multi-level analysisによって解析されたパラメータを評価にとり入れるべきかどうかの検討 (菊池)

次回は11月下旬の予定